

渡良瀬遊水地の湿地創出の取り組み

渡良瀬第2調節池では、平成22年3月に策定された「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」に則り、湿地再生を図ってきました。平成22年の掘削開始から令和2年度末までに約90.8 haの湿地再生を実施しています。平成30年11月には「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画 改定版」が策定され、同時に「渡良瀬第2調節池の湿地再生状況と今後の進め方」がとりまとめられました。現在は、この計画等を参考に、第2調節池の湿地再生を図っています。

湿地の保全・再生に向けた取り組み

掘削による湿地の再生

良好な池沼や湿地を増やし、増殖した外来種の対策を行うため、以下の項目に配慮しながら掘削を行っています。

- 1) 多様な水面の創出
- 2) 良好な湿地環境の創出
- 3) 絶滅危惧種を含む保全上の重要な種の保全と再生
- 4) 外来種対策

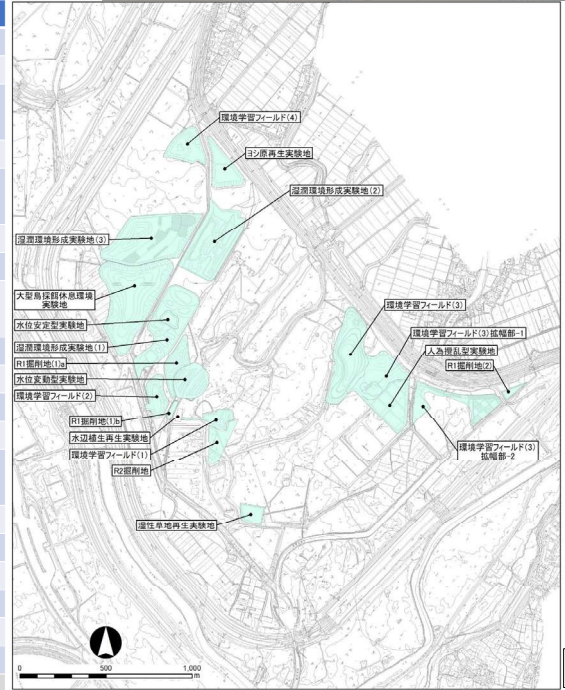


令和3年1月30日撮影

令和2年度までの掘削地

□ : 令和2年度までの掘削範囲

No.	掘削地の名称	掘削(完成)年月	掘削面積(ha)
1	水辺植生再生実験地	H19.4	0.02
2	湿性草地再生実験地	H20.11	1.4
3	環境学習フィールド(1)	H22.5(北側) H23.1(南側)	2.8
4	環境学習フィールド(2)	H24.6	2.5
5	水位変動型実験池	H23.3(左岸) H23.10(右岸)	2.5
6	湿潤環境形成実験地(1)	H26.1	9.7
7	水位安定型実験地(1)	H25.10	0.7
8	湿潤環境形成実験地(2)	H25.11(南側) H26.9(北側)	8.2
9	環境学習フィールド(3)	H26.9	8.6
10	ヨシ原再生実験地	H26.9	4.2
11	大型鳥採餌休息環境実験地	H29.3	13.6
12	環境学習フィールド(3)拡張部-1	H29.3	6.2
13	環境学習フィールド(3)拡張部-2	H29.3(西側) H30.3	1.0 2.8
14	湿潤環境形成実験地(3)	H30.3	12.2
15	環境学習フィールド(4)	H30.3	4.0
16	人為攪乱型実験地	H30.3	4.7
17	R1掘削地(1)	R02.3	3.0
18	R1掘削地(2)	R02.3	0.5
19	R2掘削地	R03.3	2.2
小計			90.8



■ : 掘削範囲

掘削等の実施箇所状況

掘削後の変遷

掘削後の環境変化について、定期的なモニタリングを実施しながら、湿地の保全・再生に向けた取り組みを行っています。

過去に掘削等を実施した場所では、現在でも、湿地環境が保全されています。



令和元年5月



令和2年9月



令和3年7月

【ドローン撮影写真／地点No.11 掘削年月：平成28年12月】



令和元年5月



令和2年9月



令和3年7月

□ : 掘削範囲

【ドローン撮影写真／地点No.8 掘削年月：平成25年11月(南側)、平成26年9月(北側)】